

開講科目名	M&A戦略応用研究		
担当教員	GCAサヴィアン株式会社	開講区分	単位数
		後期	2単位
<b>■授業のテーマと目標</b>			
<p>グローバル市場での企業成長のためには今やM&amp;Aは日本企業にとっても欠かすことのできない企業戦略である。本講座では成功するM&amp;A実務のポイントを、M&amp;A先進国である米国を参考にしながら企業価値創造に結びつく戦略的な買収、合併、分割、売却について考察する。講師は日本で唯一の独立系M&amp;AアドバイザリーファームであるGCAサヴィアン株式会社が担当する。具体的には、「M&amp;Aのグローバル実務」という著書と、KPMGでのアドバイザリー業務を通じて日本におけるM&amp;A実務の定着に貢献してきた渡辺章博、ライブドア事件での敵対的買収についての解説を始め報道ステーションでのコメンテーターとして活躍する佐山展生、ワールドの非公開化プロジェクトを成功に導いた山本礼二郎、企業価値評価や財務分析実務を専門とする加藤裕康といったM&amp;A業界のドリームチームが講師陣を構成する。</p>			
<b>■授業の概要と計画</b>			
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 企業価値創造と成長のためのM&amp;A戦略(概略)</li> <li>2. M&amp;Aのプロセスについて</li> <li>3. 買収価格算定のための企業価値評価(Valuation)の手法</li> <li>4. 戦略的事前詳細調査(Due-diligence)</li> <li>5. M&amp;Aの会計とガバナンス</li> <li>6. 買収形態と税務戦略</li> <li>7. 買収契約書のポイント</li> <li>8. M&amp;Aと資金調達(MBO)、投資ファンドによるM&amp;A</li> <li>9. 事業統合プロセスにおける変革のマネジメント</li> <li>10. 会社法の現代化などにより多様化するM&amp;A手法の研究</li> <li>11. 株式公開企業のM&amp;Aと取締役の責任</li> <li>12. まとめ</li> </ol>			
<b>■成績評価と基準</b>			
成績は出席、講義への貢献度、および課題レポートにより評価する。			
<b>■学生へのメッセージ</b>			
日本においても株主への説明責任の重視からM&Aプロセス、評価方法が重視されてきており、受講者が実践で役立つ講義としたい。			
<b>■テキスト</b>			
教科書—新版「M&Aのグローバル実務」 渡辺章博著 (中央経済社)			
<b>■参考書・参考資料等</b>			
「M&Aとガバナンス」 渡辺章博、井上光太郎、佐山展生 共著 (中央経済社) 「バイアウト 産業と金融の複合実務」 佐山展生、山本礼二郎 共著 (日本経済新聞出版社)			